

社会貢献賞

中央発條	共生社会実現に向け、2021年からブラインドランナーの支援を実施。「勝った・負けた」だけでなく、「もっと社会に対して自分たちにしかできない使命があるはず」という理念の下、ブラインドランナーの競技力向上に加え、ブラインド競技会全体のレベルアップにつなげた。地域の小学生への「伴走体験会」で視覚障害に対する理解を深める活動にも力を入れている。ほかにも陸上教室や多彩なイベント企画を通して地域との交流を深め、世代を問わず陸上競技の裾野を広げる活動やスポーツ好きになってもらうきっかけ作りを積極的に実施している。
------	--

チーム賞

■ Team of The Year賞

J P 日本郵政グループ	第44回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会（クイーンズ駅伝）で、アンカー勝負で逆転勝ち。4年ぶり4回目の駅伝女王に返り咲いた。2024年初レースになる廣中璃梨佳の復調の走りなど4区まで全員区間3位以内で手堅くつなぎ、ベテラン鈴木亜由子のデッドヒートとアンカー太田琴菜の区間賞（MVP）の快走を引き出した。
--------------	---

■ Finalistチーム賞

新潟アルビレックスランニングクラブ	第72回全日本実業団対抗選手権大会で団体総合優勝。全体の最終種目となった男子走高跳を長谷川直人が制し、土壇場で頂点に躍り出た。郡菜々佳が女子投てき2冠で着実に加点した。
旭化成	第69回全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝）でHondaとのアンカー勝負に競り勝ち、5年ぶり、最多となる26回目の優勝。高いレベルのチーム内競争で名門復権を遂げた。

個人賞

■ Athlete of The Year賞

北口 榛花（JAL）	パリ・オリンピック女子やり投で、日本女子投てき種目初となる金メダルを獲得。前年の世界選手権に続いて世界の頂点を極めた。最高峰シリーズのダイヤモンドリーグでも各種目年間上位者による最終戦に連覇するなど3勝（通算9勝）を挙げた。
------------	--

■ Finalist アスリート賞

山西 利和（愛知製鋼）	日本選手権男子20km競歩で1時間16分10秒の世界新記録を達成。第72回全日本実業団対抗選手権の10000m競歩でも優勝した。
奥村 仁志（センコー）	男子砲丸投で19m09の日本記録を更新。第64回実業団・学生対抗、第72回全日本実業団対抗選手権でも優勝を果たした。

福部 真子 (日本建設工業)	第64回実業団・学生対抗女子100mHで12秒69の日本新記録をマーク。第72回全日本実業団対抗選手権でも2年ぶりに制した。
太田 智樹 (トヨタ自動車)	丸亀国際ハーフマラソンで日本勢初の1時間切りとなる59分27秒の日本新記録。EXPO EKIDENは最長3区の区間賞で優勝に貢献。
郡 菜々佳 (新潟アルビレックスランニングクラブ)	第64回実業団・学生対抗と第72回全日本実業団対抗選手権の女子円盤投で優勝。選手権は砲丸投との2冠で団体総合優勝に貢献した。

■ U23アスリート賞

三浦 龍司 (SUBARU)	パリ・オリンピック男子3000mSCで8位入賞。順大時代の2021年東京オリンピック7位に続く2大会連続入賞を果たした。
小林 香菜 (大塚製薬)	大阪国際女子マラソンで日本勢トップ、日本歴代10位の好タイムで2位となり、世界陸上東京大会代表の座を射止めた。

■ Coach of the Year 賞

西村 功 (旭化成)	監督として、第69回全日本実業団対抗駅伝競走大会 (ニューイヤー駅伝) でチームを4年ぶり26回目の最多優勝に導いた。
------------	---